



世界に希望を生み出そう

会長 辻 啓明 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30  
副会長 下郡山 永一 例会場 レンブラントホテル海老名  
幹事 松本 健司 事務局 海老名プライムタワー10階  
副幹事 上 蘭 朗 海老名市中央2-9-50  
会長エレクト 篠原 康史 TEL: 046(233)5122  
編集:佐藤 まどか 飯島 博之 FAX: 046-233-3322  
窪 悠久 下郡山 永一 上 蘭 朗 E-mail: keyakirc@alto.ocn.ne.jp

## 第 1239回 例会 2023年（令和 5年）10月19日（木）

### 本日の例会

10月19日 米山奨学委員 府中副委員長

### 今後の予定

10月26日 ガバナー訪問  
11月2日 休会  
11月9日 卓話 下原会員  
11月16日 綾瀬春日・海老名欖合同委員会  
11月23日 休会  
11月26日 地区大会

### 前回の例会 第1238回

### ビジッター・ゲストの紹介

ゲスト：第6G ガバナー補佐  
小松 正道様（海老名RC）

### 会長挨拶

今朝テレビを流し見してたら、緒方貞子さんについて放送されていて、やっぱり、素晴らしい方で過去にロータリーの奨学生でもあったんですかね。

ロータリーと繋がり

ある方で、危険な難民なんかを助けるために戦地とか赴くことになるんですけど、自分が先頭に立って、そういうところに行かれるんですね。

その状況を見て判断して助けるべきなのかどうかとか、誰を活かせるのかとか、そういうことを判断するようなんですけど、なかなか、思ったようにそういうことができる方っていないと思うんですよね。



それを見た後に、自分はエンドポリオとかいいなと思って入ったんですけど、実際にエンドポリオの現場見てるわけでもないし、なんか、できることとか、もっと知るべきことがもっとあったのかなと考えさせられる、そんな時間になりました。  
それぞれができること、今ロータリーでせっかくロータリーにいるんで、この仲間と一緒にやれる、地域での活動も含めて、もう一度、あの、自分たちの足で、やれること、やりたいなと思うこと、そういうことができればいいなと思いました。ありがとうございました。

### 9・10月のお誕生日おめでとうございます。



### 10月18日 2780地区 第26回 ローター野球大会 出場



### 出席報告

会員数	出席数	出席率
34名	27名	79.41%

## 卓話 小松AG ガバナー訪問に備えて ロータリー概要

ロータリー概要をご説明いたします。データで見る世界のロータリアンということで、世界のロータリアン総数は、119万7735人です。クラブ数は、3万、7005クラブ地区数が、520地区、国と地域において520国



以上ということで、2023年4月現在でございます。データで見るロータクト、インターアクト。世界のロータクト総数は17万4333人、クラブ数が1万1210クラブ、国と地域においては160国以上でございます。

世界のインターアクト総数、44万3118人、クラブ数19266クラブ、国と地域においては150国以上でございます。

世界規模の活動ということで我々の仲間は140万人、世界にいます。人をつなげるということで活動していて、4700万時間を要して、地域社会を変えるということで、奉仕活動に捧げております。そして3億ドル以上、プロジェクト資金を支えるということで、2021から22年度には、全世界の投資プロジェクトに3億3300万ドルの補助金が授与されたということでございます。

日本のロータリアン総数は8万6873人。クラブ数は、2236クラブ。地区数は34地区でございます。

2780地区、ロータリアン2316名、女性会員比率がですね、13パーセントということで、活動しているわけでございます。

地区はクラブのためにあるということで、各クラブをサポートする地区の委員会を、これからご紹介をさせていただきます。

今年度は、第6グループ、ガバナーの補佐として、動いておりますので、各クラブの心配事、意見、そういったものを言わせていただきますと、私の方からガバナーにお話をさせていただく役割でございます。

地区クラブ管理運営委員会は、地区はクラブのためにあるをコンセプトに掲げ、各クラブに寄り添うことで、クラブのサポートを強化し元気なクラブ作りの一助を担うことを目指しております。ロータクト委員会、インターアクト委員会、青少年公開委員会はロータリー青少年指導者育成プログラム、いわゆるRYLAで青少年や若い世代の社会人との

つながりを強化して、リーダーシップ能力を伸ばす支援を推進しております。

我々の第6グループには、インターアクトクラブでございますが、県立厚木商業高等学校にございます。厚木中ロータリークラブ提唱しているクラブということでございまして、公共の部活動の一部のような形で活動していません。現在は1人もいないようで、厚木中の小沢会長が校長先生に会いに行きこのインターアクトのメンバーを増やしたいということをお話してきたということでございます。

青少年交換留学生募集ということで書いてありますが、青少年奉仕委員会のこの交換留学生というのは高校生で海老名クラブでも、5年前くらいにお1人、青少年交換学生で受け入れをいたしました。やっぱり海外からの交換留学生で来る高校生ぐらいの方はですね、どうしても、文化の違いに馴染めなくて途中で帰ってしまったり、それが原因でクラブ内が揉めて退会をしてしまった方もいたりですね。この青少年、交換学生のこのプログラムには、難があるようでございます。

やっぱり地区としても色々見直していかなくちゃいけないのかなという風に感じます。米山奨学生であるとか財団奨学生はですね、もう大人なんですね、大学生であったり、大学院生であったり、研究者であったり、ということで、自分の目的ははっきりしてる方々が、奨学金をもらって、学ぶわけですので、ちょっと性質が違うんですね。次にロータリー財団の委員会です。このロータリー財団の委員会というのは、国際的なロータリークラブの一部であり、ロータリー財団の活動を監督及び管理する責任を持っています。

この米山奨学委員会はですね、日本で米山奨学金で学んでいただいて、母国に帰って、日本の良さを伝えていただき、また、その母国との間のですね、駆け足しになっていただきたいという風な活動です。非常にあの、素晴らしいプログラムだと思います。今年度は地区の方に、こちらの佐藤さんも米山小奨学委員会に行かれていますことを存じております。非常に活発に活動している姿も私は拝見させていただいております。

中国の米山奨学生方から卓話を聞きました。日本に来て、勉強する時間がないほど働かなくてはやっていけなかったそうであります。この米山奨学金をもらって、勉強する時間があったということですね、非常に感謝しております。奨学生で学んだ方々学友のですね、清掃のキャンペーンが江ノ島で行われました。

米山奨学金で、勉強してる方が、韓国の方とお話をさせていただきました。その方は、歯医者さんになりたい、親が歯医者なんだそうです。

ここで1年間勉強しますと、韓国に戻って、徴兵制があるということで2年向こうで、訓練をして、また日本に戻ってくるということだそうです。本当に感謝している人たちの話を聞きますと、いわゆる米山病というらしいんですが、この米山委員会で、活動なさった方がですね。そういうことに感動して、やめられなくなってしまうのが米山病ということらしいです。

もう本当に素晴らしいですね。そういう風な活動も我々にはあるということでございますね。

これが2780地区の会員の推移でございます。現在、2676名でございますね、313名が女性の会員比率でございます。

このマイロータリーというのがあるんですが、登録率がですねえ、60パーセントということでございます。これ、登録していただきまして、100パーセントに持っていきたいという風に考えてございます。

ガバナーが20パーセント各クラブに女性を入れていただいて言っておりました。

ロータリーイコール世界ポリオ根絶推進活動という風な名前でも繋がるかもしれませんが、エンドポリオなうということで、ずっと続けていく奉仕事業じゃないかなという風に感じております。ガバナー曰く、これは完全になくなることはないんじゃないんじゃないかということをおっしゃいました。

本年度のRI地区方針をご説明いたします。世界に希望を生み出そうということで、RI会長ゴードンさんでございます。ガバナー訪問の際はよろしくお願いいたします。